

を設立する。

同社は一九九〇年に、韓国において現地パートナーと提携し、「門番」ブランドでのシートシャッターの販売を開始。現地での販売強化とユーザーサポートのために二〇一〇年五月にソウル支社を開設した。また、グローバル化に伴う世界展開のあり方として小松社長が二〇〇六年十二月、「ガレージファクトリー構想」を発表。「最終ユーザーに近い場所での生産、アフターサービスの充実、二〇〇平方メートル程度の用地」での世界多拠点生産について計画を進めてきた。このたび「門番」新型の開発進捗に伴い、韓国をガレージファクトリー構想の第一号と位置づけ、従来のソウル支社を現地本社とし、新たに工場を設け、韓国国内二拠点体制として、韓国国内の需要とFTA政策の進捗に伴う韓国からの輸出を視野に、現地法人を設立する。これにより同社では「シートシャッター市場を構築したパイオニア」として、韓国国内ユーザーの施工・コンサルティングから運用管理まで、幅広いサービスの提供体制を一層強化していく。

韓国における現地法人を設立 小松電機産業

小松電機産業(株) (本社松江、小松昭夫社長) は、同社の一〇〇%出資により韓国における現地法人「KOMATSU KOREA CO.,LTD」